

2025 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2025 年 12 月 25 日（木） 17 時 00 分～17 時 30 分
出席者	市長、副市長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、地域協働局副局長、地域協働局 SDGs 推進課課長（調整担当）、行財政局長、行財政局副局長、行財政局財務課長、環境局長、環境局部長（自然環境担当）、経済観光局局长（農政担当）、経済観光局副局長
議題	里山再生戦略の推進
提案概要	<p>○多様な主体が、多様な形で参画することにより、現代の技術と価値観で再構築された、持続可能な「未来の里山」を実現する。</p> <p><だれでも農園事業></p> <ul style="list-style-type: none">・担い手不足や耕作放棄地の増加を防ぐため、農地を市民団体や個人が農業体験やレクリエーションに利用できる仕組みを整備する。・農政公社が農地を借り上げ、利用者とのマッチングを行う。2026 年度は北区・西区で試行的に実施予定。 <p><自然と調和した稲作></p> <ul style="list-style-type: none">・コウノトリが飛来する北区の農地を主なフィールドとして、農薬を極力使わない昔ながらの農法に、最新技術を組み合わせた米づくりの実証に取り組む。・2026 年度は数か所の農地でモデル的に実証を行う。 <p><ため池の生物多様性保全></p> <ul style="list-style-type: none">・自然共生サイトに認定された棚田地区で、ため池の堤体破損や漏水対策を行い、生物多様性を維持する整備を実施。・外来種（アカミミガメ・アメリカザリガニ）の駆除方法の検証も進める。 <p><こうべため池再生プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none">・市内の農業用ため池を都市近郊の水辺資源として再生し、交流拠点や魅力発信の場にしていく。・調査・分析やワークショップを通じて活用可能性も検討。

	<p><有害鳥獣処理拠点施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲者の負担軽減やジビエ活用促進等を目的に、2027年度稼働を目指して拠点施設を整備していく。 <p><里山に親しむ人材育成拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸電鉄五社駅前の市有地を活用し、里山と都市をつなぐ交流・人材育成拠点を整備する。 ・「里山に親しむ庭園」をコンセプトとして、茅葺の拠点施設等を整備し、2026年度にプレオープン、2027年度に本格オープンを目指す。
<p>会議結果 (主な意見等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p>○今後の実施、検討にあたっては、以下の点に留意すること</p> <p><だれでも農園事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参入団体の確保や手続きの迅速化を引き続き検討していくこと。 <p><自然と調和した稲作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積は小規模からスタートし、効果検証後に市内農家への展開やブランド化を目指していくこと。 <p><こうべため池再生プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は民間事業者への委託事業として実施し、将来的には民間団体の自走を目指すこと。 <p><有害鳥獣処理拠点施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体や検査体制、処理頭数、費用負担等の仕組みについて引き続き検討すること。 <p><里山に親しむ人材育成拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地周辺の景観改善についても、関係者と調整して進めること。